

ぜん力疾走!

碧南市立東中学校



第2号 H28. 4. 15

ドキドキの入学式やクラス発表から早一週間、いまのみなさんの気持ちはどうですか？そろそろ疲れが出てくる頃かと思しますので、くれぐれも体調に気をつけ、元気に学校生活を送っていきましょう。

さて、この一年間、進路便りを通して、全校のみなさんの進路選択を全力で応援していこうと考えています。また、勉強の仕方など学習に関しても、みなさんにとってためになる情報を発信していきます。今回は、家庭学習の方法について、効率のよい記憶方法と合わせてお話をします。(ただし、各学年とも学習担当の先生から、学習の進め方についてアドバイスをもらっていると思うので、そちらを中心とし、以下の内容はあくまで参考としてください。)



家庭学習の方法として、例えば、教科書に書かれていること全てをきれいにノートにまとめたします。しかし、これをして、自分の中で上手くまとめたという満足感を得られるだけで、頭の中には何も入ってこないと言われていました。「きれいにまとめたらテストの点数が上がるんじゃないの?」と思いきや、教科書を写すことが作業となってしまう、結局頭の中に残る勉強にならないわけです。せっかく、時間をかけて行う家庭学習ですから、面倒くさがらず、ちゃんと理解ができる勉強にするといいですね。

また、記憶の仕組みを理解し、家庭学習を行うとより効果的な勉強ができます。

人間の記憶は・・・



①「48時間後にはほとんど残らない」と言われていました

一度勉強しただけの内容は、48時間で7割ほど忘れてしまうそうです。つまり、記憶を定着させるためには繰り返し学習が必要なのです。テストに出題される内容を家庭学習でしっかりと勉強し、それを継続していけば、テスト週間の際にあせることなく済みます。

②「時間をかけて覚えた方が長期的記憶になる」と言われていました

定期テストで覚えた内容は高校入試にも出題されます。つまり、今覚えた知識は何ヶ月、何年も先に必要な知識となります。しかし、テスト前に一気に覚えたことは、すぐに忘れてしまいます。それを防ぐためには、家庭学習を上手く使い、長期に渡って繰り返し覚えた方がいいのです。



勉強は結果が出るまで時間がかかるものです。あせることなく、地道にコツコツと続けていくことを大切にしてください。